

平成23年度  
実施事業

事務事業名 自然体験学習推進経費

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	1	特色ある教育活動の推進
主要な施策	3	体験活動の充実
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童・生徒の社会性・自主性を育むことを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>ネイチャーセンターを活用し、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行った。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象学年等 各小学校5年生(参加児童数 7校327名) 各中学校1年生(参加生徒数 3校276名)</li> <li>・内容 1日目 自然遊び体験、ものづくり体験、屋外調理実習 2日目 周辺散策、昼食、帰校 等</li> </ul>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	自然体験学習は、教室では学べない事柄に触れる良い機会であり、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができる事業であることから、今後も継続して実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	588	588	662	662	662
事業費 合計			588	588	662	662	662

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	体験学習実施回数(日帰り)	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	3			
	体験学習実施回数(宿泊)	回	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	7	7			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童・生徒の社会性・自主性を育む。	自然体験学習は、教室では学べない事柄に触れる良い機会であり、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができる事業であることから、今後も継続して実施していく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	自然体験学習を通して、教室では学ぶことができない事柄に触れ、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができるため、市が事業を行うことは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	児童・生徒の社会性・自主性を育むために必要な事業である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	本事業の経費は、ネイチャーセンターへの移動に要する経費であるため、削減は事業規模の縮減につながり、児童生徒の自然体験の機会を狭めることになる。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	炊事遠足などの野外活動、宿泊学習を通じて、協調性を学ぶとともに、児童生徒間の連帯感も増している。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	自然体験学習を通して、児童生徒の社会性、自主性を育てるために必要な事業である。
-----------	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--